



平成 19 年 9 月 18 日  
東京都板橋区小豆沢 3-6-10  
オリエンタル酵母工業株式会社

## オリエンタル酵母工業は sRANKL を発売

この度オリエンタル酵母工業(株) (本社：東京都板橋区、社長：内藤利邦) は、骨粗鬆症の治療薬開発や骨代謝関連の創薬研究に欠かせない蛋白試薬であります sRANKL (可溶性 RANKL) の製造販売を、9 月から開始いたします。

RANKL は破骨細胞分化因子と呼ばれ、10 年前に発見された腫瘍壊死因子 (TNF) ファミリーに属する、膜型蛋白質です。破骨細胞とは我々の体の中で唯一骨を破壊・吸収する細胞で、その阻害抗体は、現在日米で骨粗鬆症治療薬として臨床開発されています。

この度、当社が製造販売を開始する sRANKL は、従来のもよりも高活性、※低エンドトキシンの高品質で、なおかつ組換え蛋白のため量産が可能となりました。当社は sRANKL を※グルタチオン S トランスフェラーゼ (GST) と融合した蛋白質 (GST-RANKL) として遺伝子組換え技術により発現させ、使いやすい液状凍結品として発売いたします。すでに当社グループの実験では、破骨細胞分化において従来品以上の性能を有し、実験動物への投与実験においても骨量減少が確認されております。

従来、骨量減少症モデルの作製には 4 週間以上の期間がかかりましたが、当社の sRANKL を用いた動物は 2 日間で従来のモデルと同様の病態を呈し、代替モデルとしても期待されております。

sRANKL の販売価格は 20 マイクログラムで 20 千円と設定しており、9 月中旬から日本で発売後、欧米でも順次販売を予定しております。

当社は「酵母にこだわる事業展開」を事業の原点とし、酵母を核としてバイオテクノロジー分野へ事業を展開しております。バイオ部門では「酵母・細胞・遺伝子を核に未知の世界を開拓する」をスローガンとして、生化学・免疫製品などの体外診断薬原料の供給や医薬品の研究開発支援をテーマに、各種実験用資材、受託サービスを提供しております。最近では遺伝子を利用した医薬品開発のためのゲノム研究ニーズにも応えております。この度の sRANKL は当社長浜生物科学研究所 (所在地：滋賀県長浜市、所長：保田尚孝) で開発されました。一連の事業を更に発展させるため本年 6 月には組織改革を行い、遺伝子・細胞・動物の 3 分野の R & D 機能を統合した長浜生物科学研究所では、お客様の医薬品研究開発における川上から川下迄の業務をトータルにサポートできる体制を、更に充実させております。

(注) エンドトキシン :

グラム陰性菌の細胞壁を構成する物質であり、人に対しごく微量でも血中に入ると毒性を示すほか、破骨細胞分化に対し抑制的に働くことが知られています。

グルタチオンSトランスフェラーゼ(GST) :

細菌から動植物に広く存在し、グルタチオンに高親和性かつ特異的に結合します。蛋白質の精製の際にタグとしてよく利用されています。

以上